普及現地情報

発信年月日：令和８年(2026 年)11月５日
所　属　名：東近江農産普及課
番　　号：D26013
発 信 者 名：松山、西村、今川

有事に備え、特定家畜伝染病防疫演習を実施

10 月 15 日、特定家畜伝染病の発生時に迅速な防疫対応がとれるよう、東近江現地対策本部を構成する健康福祉事務所と農業農村振興事務所の職員を対象に、日野町において特定家畜伝染病防疫演習を実施しました。

高病原性鳥インフルエンザは近年全国では毎年発生している状況で、当地域においては昨シーズン農場での発生こそ無かったものの、近隣県の三重県や岐阜県で発生がありました。今年度も渡り鳥等を通じて国内にウイルスが侵入するリスクが極めて高いと考えられます。また、豚熱は現在も発生が継続しており、当地域においても平成31年2月、令和3年10月に防疫措置を実施しています。

今回、特定家畜伝染病の発生時に迅速な防疫対応がとれるよう、集合場所およびテント基地での発生時の防疫作業従事者への対応、資機材の搬入などの対応を確認することを目的とした演習を実施しました。

午前の演習では、集合場所となる体育館において会場設営後、防疫従事者10名の対応の流れを確認しました。

午後は、実際の農場でのテント基地の設営や、搬入車の動線、埋却地の確認などを行いました。

これらの演習により特定家畜伝染病発生時に迅速な防疫対応がとれるよう、関係職員の意識の向上を図ることができました。今後も有事に備えた体制の強化を進めていきます。



集合場所演習の様子



テント基地演習の様子